2025 年度　看護師に向けた性的マイノリティへの受療行動支援事業

順天堂大学大学院医学研究科・教授　武田裕子先生をお招きし、「誰一人取り残さない医療」の実現を目指し、LGBTQ＋について理解を深めるための講演会を開催しました。延岡市・日南市・宮崎市の 3 会場で実施し、**合計 78 名**の方々にご参加いただきました。

参加者 には医師・看護師など医療従事者をはじめ、議員、行政関係者、県の担当者、そして当事者の方々まで幅広い層が含まれ、10 歳代から 60 歳代以上まで多世代にわたる参加がありました。

参加者の声（一部）

✧「自分のからだが自分のものではない感覚を、当事者のお話から少し理解できた気がしました。とてもつらいことだと思いました。生きる力になる人でありたいです。」

✧「頭で理解していたつもりでしたが、実際に当事者のお話を聞き、胸が痛みました。社会全体に早く理解が広まるように周知していかなければと思いました。」

✧「医療者として、人として LGBTQ＋についてもっと学ぶ必要があると感じました。アライとして成長し、すべてを受け入れられる人間として生きていきたいです。」

✧「宮崎ではまだまだ理解が追いついていないと感じます。今後このような場を通じて多くの方に理解が広がり、当事者の方が生きやすい社会になることを願います。」